

活動の記録

実践活動に取り組む際は、活動の内容や参加者、日当等の支払いの実績などを「作業日報」に記録しましょう。実績報告の際は、「作業日報」をもとに「活動記録」を作成します。



Q 作業日報のつけ方は？

作業内容を活動ごとに記録してください。事務処理や打ち合わせ、活動の取りまとめなどの日常業務についても記録しておくことが必要です。

活動区分は以下の表を参考に選んでください

活動区分	作業の例
調査・計画	活動や施工を行う予定場所の現地調査や確認など
実践活動	計画に基づいた草刈り作業や水路の補修作業、農村環境保全活動など
啓発・普及	地域に活動を知らせる広報活動や意識・関心を引き付ける啓発活動、地域住民との交流活動など
設置等	自主施工による現場作業や外部発注した作業の現場確認など
事務処理等	活動実施後の支払、活動記録や金銭出納帳の整理、総会の準備など
研修・会議	総会、研修、会議など
発注事務	自主施工する場合の資材・機材の手配、外部発注する際の見積徴収や契約書作成に係る事務など

NO _____	
平成 年度 多目的機能支援交付金 作業日報	
活動登録番号 _____	
1. 活動実施日時	
実施日時	月 日 時 分 ~ 時 分 時間
2. 参加者情報	
活動実施者	担当者名 勤務場所
協働団体等	団体名
3. 活動内容	活動内容
調査・計画	現地調査確認
実践活動	現地の水耕栽培
啓発・普及	現地の水耕栽培
設置等	現地の水耕栽培
事務処理等	現地の水耕栽培
研修・会議	現地の水耕栽培
発注事務	現地の水耕栽培
4. 詳細内容	
※具体的な物語内容記入してください。 ※裏面に記載してください。参加者が多い場合は裏面をつぶしてお使いください。	

※作業日報の様式は、市町で指定の様式がある場合は、その様式を用いましょう。指定する様式がない場合には、本マニュアルの作業日報を活用してください。



Q 写真による記録をどうする？

日頃の活動状況の写真是、市町による実績確認や組織内の引き継ぎなどに役立ちますので、必ず撮っておきましょう。その際に日付を設定しておくと、活動記録を整理する時に記憶をたどるのに役立ちます。

なお、以下の場合には写真による記録が必須です。

- ・点検や機能診断で問題箇所が見つかった場合
- ・外注工事や自主施工による工事を行う場合（必ず施工前、施工中、施工後の写真を撮りましょう）



写真には日付を入れておくと活動記録の整理に役立つ

作業日報のつけ方

以下のポイントにそって記入しましょう。

※市町が指定する様式がある場合は、そちらの様式を使用してください

(参考様式)

農地維持支払の活動も資源向上支払の活動もともにこの用紙で記録できます

農業者と農業者以外を分けて数えます

平成〇〇年度 多面的機能支払交付金 作業日報

活動組織名：〇〇地区保全会
(記入者： 山口 太郎)

活動の時間はおおむね30分単位で記入します

1. 活動実施日時

実施月日	4月 10日
実施時間	13時 00分 ~ 15時 00分 2時間

2. 活動参加人数

総参加人数	農業者	農業者以外
10人	10人	0人

3. 活動内容

活動区分	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 実践活動	<input type="checkbox"/> 啓発・普及	<input type="checkbox"/> 事務処理等	<input type="checkbox"/> 研修・会議
	<input type="checkbox"/> 発注事務	<input type="checkbox"/> 設置等			

対象活動	施設・テーマ	主な活動項目
農地維持支払	□農地	遊休農地発生防止のための保全管理(草刈りや耕起)
	□農地 □水路 □農道 □ため池	施設の点検活動
	□農地 □水路 □農道 □ため池	草刈り
	□水路 □農道 □ため池	堤さらい(泥上げ)
	□農地 □水路 □農道 □ため池	施設の適正管理
	□農地 □水路 □農道 □ため池	異常気象時の見回り・応急処置
資源向上支払 (共同活動)	□地域資源の適切な保全管理のための推進活動	
	□農地 <input checked="" type="checkbox"/> 水路 □農道 □ため池	施設の機能診断
	□農地 □水路 □農道 □ため池	施設の軽微な補修
	□景観形成・生活環境保全	花の植栽・清掃など
	□水質保全	水質モニタリングの実施など
	□生態系保全	生きもの調査、ビオトープづくり、ホタルの放流など
資源向上支払 (長寿命化など)	□多面的機能の増進	遊休農地の有効活用など
	□農地 □水路 □農道 □ため池	施設の補修・更新など

対象となる施設や活動テーマを選びます。当てはまるものがない場合は空欄に記入します。
別紙の活動項目一覧を参照してください

4. 取組内容

※具体的な取組内容を記入してください。

機能診断と結果の記録

- 水路 (〇〇~〇〇区間)
- ××水路 (〇〇~〇〇区間)
- △△水路 (〇〇~〇〇区間)

さらにくわしく取組内容について記します

5. 参加者名簿

※裏面に記載してください。参加者が多い場合は裏面をコピーしてお使いください。

参加者名簿のつけ方

以下のポイントにそって参加者一人ひとりに名前を記入してもらい、さらに支払いがある場合には押印または自筆サインをもらってください。

※市町が指定する様式がある場合は、そちらの様式を使用してください

(参考様式)

参加者・支払者名簿

活動組織名：○○地區保全會

作業日 : 平成〇〇年 4月10日

作業時間： 13時00分 ~ 15時00分（2時間 分）

作業内容： 水路の機能診断

※日当等の支払の場合は、確認印の押印、またはサイン（フルネーム）の記入をしてください。

活動記録の記入の仕方

作業日報に記入した内容をもとに、以下のポイントにそつて「活動報告」の用紙にまとめて記入してください。

活動の実施時間はおおむね
30分単位で記入します

活動実施日時		実施場所		活動参加人員		活動区分		活動内容		施設は		具体的な活動内容（＜）は基準会社の標準＞		備考		
実施日	開始時間	終了時間	場所名	担当者	職務	場所名	担当者	活動内容	計画	実施	監査	活動項目（件）	活動内容（件）	監査	活動項目（件）	活動内容（件）
4月10日	9時00分～12時00分	3時間	10人	6人	人	2人		<input type="checkbox"/> 動植物持 <input type="checkbox"/> 資源向上（長寿化）	<input type="checkbox"/> 開拓・計画	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 水道	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 研究・企画	<input type="checkbox"/> 計画	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 調査
5月10日	13時00分～16時00分	3時間	10人	6人	人	2人		<input type="checkbox"/> 動植物持 <input type="checkbox"/> 資源保全ラン	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 水道	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 研究・企画	<input type="checkbox"/> 計画	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 調査
5月15日	7時00分～10時00分	3時間	30人	25人	人	5人		<input type="checkbox"/> 動植物持 <input type="checkbox"/> 資源向上（長寿化）	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 水道	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 研究・企画	<input type="checkbox"/> 計画	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 調査
6月10日	9時30分～11時00分	1時間30分	2人	2人	人	0人		<input type="checkbox"/> 動植物持 <input type="checkbox"/> 資源向上（長寿化）	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 水道	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 研究・企画	<input type="checkbox"/> 計画	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 調査
6月20日	1時00分～15時00分	6時間	50人	40人	人	10人		<input type="checkbox"/> 動植物持 <input type="checkbox"/> 資源保全ラン	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 水道	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 研究・企画	<input type="checkbox"/> 計画	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 調査
6月30日	3時00分～15時00分	6時間	50人	40人	人	10人		<input type="checkbox"/> 動植物持 <input type="checkbox"/> 資源向上（長寿化）	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 水道	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 研究・企画	<input type="checkbox"/> 計画	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 調査
7月20日	3時00分～13時00分	5時間	60人	10人	人	50人		<input type="checkbox"/> 動植物持 <input type="checkbox"/> 資源保全ラン	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 水道	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 研究・企画	<input type="checkbox"/> 計画	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 調査
8月20日	1時00分～15時00分	6時間	30人	25人	人	5人		<input type="checkbox"/> 動植物持 <input type="checkbox"/> 資源保全ラン	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 調査・計画	<input type="checkbox"/> 水道	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 研究・企画	<input type="checkbox"/> 計画	<input type="checkbox"/> 実施	<input type="checkbox"/> 調査

組織名：○○地区保全会
活動記録の記入はおおむね
平成〇〇年度 多面的機能支払交付金 活動記録

「作業日報」の「対象活動」施設・
テーマをもとに記入します
(施設またはテーマ)
・事務・農地・水路・農道・ため池
・保全管理のための推進活動
・生態系保全
・景観形成
・水質保全
・水田貯留・地下水涵養
・多面的増殖活動

※別紙の活動項目一覧
を参照してください

同じ日の活動でも活動内容
ごとに記録します

(注) 事務処理や打ち合わせについても記録してください。

備考には補足的な
事項を記入します。
写真があれば写真
番号を備考に記入
してください



Q 金銭出納簿に記録するポイントは？

金銭出納簿は毎年新しいものを用意します。計画書に記載した「農地維持支払」と「資源向上支払」に関するすべての活動について、金銭の出入りを一括してこの出納簿に記入します（記入のポイントは裏面参照）。

(注) 金銭出納簿や領収書等の支払いを証明する書類は、交付の翌年度から5年間保管しなければなりません。

農地維持支払交付金および資源向上支払交付金（施設の長寿命化のための活動を除く）の会計と、資源向上支払交付金（施設の長寿命化のための活動）の会計の資金を、それぞれに流用することはできません。したがって、それぞれの会計に関する通帳を別々に用意しませう。



出納簿は年度末に監査役による内部監査を行う。その結果は監査報告書の形で総会に提出される

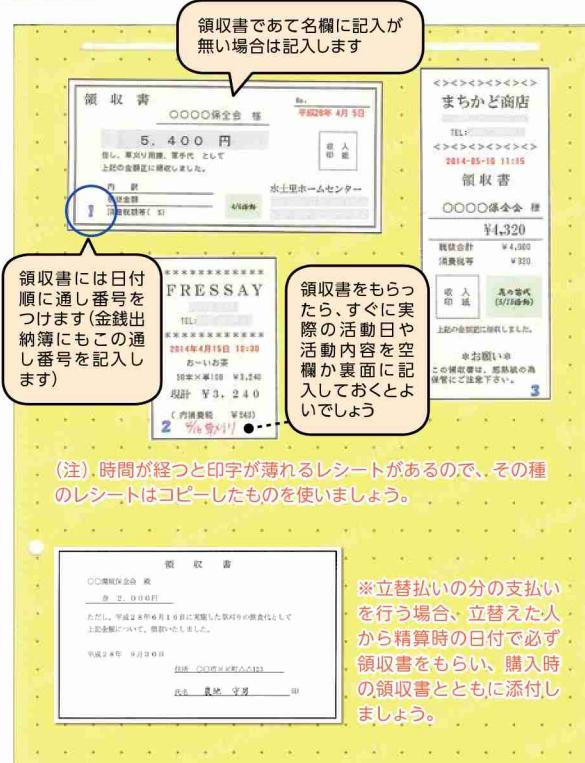


Q 領収書の整理の仕方は？

金銭を支払った場合には必ず領収書をもらいましょう。領収書は品名と店舗名が入っていればレシートで構いません。また、手書きの領収書の場合、品名や規格、数量等も記入してもらってください。

※参加者・支払者名簿の記入例

個人に支払う日当受領書については、名簿形式のものでOK



金銭出納簿のつけ方

以下のポイントにそつて記入しましょう。

平成〇〇年度 多面的機能支払交付金 金銭出納簿

前年度からの持越金は年度始めに計上します

購入した資材や日当などの内訳を具体的に記入します

日付	分類	内容	1. 備品料費及び備品販売上支払		2. 貢献向上私達の販売の販売化		領収書番号	活動実施日	備考
			収入(円)	支出(円)	残高(円)	支出(円)			
4月1日		前年度持越金	● 50,000		50,000	150,000		1-1	4月10日 増加診断
4月15日	1	会員登録料の日当 (10人×1,500円)		15,000	35,000			1-2	5月10日 会員登録会議
5月10日	1	飲食料日当 (10人)		15,000	20,000				
6月30日		多面的機能支払交付金 (〇〇円)	2,487,200		2,507,200	2,000,000			
7月1日	1	算替料 (販売代 (15%))		2,505,200					
7月8日	1	算替料 (販売代 (15%) × 30人×1,500円)	450,200		2,505,200				
7月15日	1	水道料の更新による購進料 (〇〇円)	450,200		2,505,200				
7月22日	4	会員登録料の更新による購進料 (〇〇円)		300,000	1,850,000	2-1			
7月30日	2	会員登録料の更新による購進料 (〇〇円)		452,700	1,850,000	1-5			
領収書の日付を記入します。維繩から先方に実際に支払われた日になります									
3月15日	2	算替料 (販売代 (15%))	100		50,000	1-20	3月25日 例会		
3月15日	4	海苔敷き物代 (〇〇商店)			50,000				
合 计			2,537,300	2,407,300	2,500,000	① 130,000		2,250,000	② 50,000

※領収書は、渡し書を記入した上で、必ず保管しておいてください。(領収書の保管の方法は後述をご参照ください)。

返還額、次年度持越し額、

※年度持越し、水の保有活動料 (貢湯料)については、別々の領収書を発行してしまってください。

次年度持越し額、

※「分類」には、下段を参考して記入する表出費用の種類を記入します。

番号	支出費項目	日当	活動参加料に対する支払った日当	内 容
1				収容料、宿泊料、移動料など人の入居料、若者向けのリース料、車両、機械等の運営料、花の購入料、音楽料など
2				修繕、更新等の設備投資、設計・測量料など
3				技術指導等の専門門門事務への賃金、資料費、旅費、文具代、光熱費の費用、アパート等への賃金、車両や運送の燃費代、食事料代、お酒代など
4				その他

次年度以降の活動で使用する見込みがない分は市町へ返還します

1年間の活動で残った金額について次年度の使用時期と使用方法を実施状況報告で明記することで次年度に持ち越すことができるかどうかは、市町に確認しましょう

金銭の管理 ②日当の支払い

個人が草刈りや泥上げなどの作業に当たった場合、それが活動計画書に記載された活動であれば、個人に日当を支払うことができます。



Q 日当を支払う時の注意事項は？

A 以下の点に注意して行いましょう。

- ① 日当を支払う場合は作業の日報（作業内容、作業時間など）を記録し、保管する。
- ② 単価は総会など、構成員参加のもとで決める（必ず議事録の作成と保管を行う）。
- ③ 地域の実情を踏まえた単価とする。JAの作業単価や市町の農作業委託単価、国・県の最低賃金を参考に設定する。もしくは、内規を作成してその中に明記する。
- ④ 日当の支払いに対しては、必ず受領者の受領証明が必要となる。個々でなくとも、参加者全員分を名簿形式にして、その書類に受領印、またはサインをもらう形でOK（裏面の参加者・支払者名簿を参照）。



自主施工による水路の補修



Q 日当を支払うことのできる活動は？

A 日当を支払うことができる活動は以下のような活動となります。

活動内容	交付金対象の可否	注意事項
草刈り、泥上げなどの活動	活動計画に位置づけた活動であれば対象となる	受領証明を作成すること
活動組織の事務処理など	対象となる	必ず事務作業の日報（作業内容、作業時間など）を記録して保管すること
研修会・説明会、先進地への視察などへの参加	原則として研修会等の開催時間のみを対象とする（内部での研修会についても同様）	外部開催の研修会等に参加した場合は、総会や研修会などで構成員に報告する機会を設けること。 観光旅行との指摘や誤解を受けないような計画とすること
施設の点検・機能診断および補修	対象となる	

日当の受け取り証明の方法

日当を支払う場合、個別の領収書でなくてもOKです。代わりに、活動の月日や時間、活動内容、金額などを記した「参加者・支払者名簿」に、受領印またはサインをもらう必要があります。

(参考様式)

参加者・支払者名簿

活動組織名: ○○地区保全会

作業日 : 平成28年 6月10日

作業時間 : 8時00分 ~ 12時00分 (4時間 分)

作業内容 : 自主施工による水路の補修

氏名 (フルネーム)	区分		内訳		活動で使用する草刈機などの借り上げがある場合に記入します	押印又はサイン
	農家	農家以外	日当	草刈機借上料		
山口太郎	<input type="radio"/>		3,000		3,000	山口太郎
岩国和夫	<input type="radio"/>		3,000		3,000	岩国和夫
柳井次郎	<input type="radio"/>		3,000		3,000	柳井次郎
周南次男	<input type="radio"/>		3,000		3,000	周南次男
美祢三郎	<input type="radio"/>		3,000		3,000	美祢三郎
下関四郎	<input type="radio"/>		3,000		3,000	下関四郎
長門一男	<input type="radio"/>		3,000		3,000	長門一男

日当の金額は一人ひとりについて数字を書き込みます(金額が同じでも「！」の記号は不可)

参加者氏名欄に自筆で記入してもらった場合でも、日當について必ず受領印またはサインをもらう必要があります

●自治会や老人会など団体の構成員が参加した場合

日当を団体代表者に一括で支払うことも可能です。その場合、一括で領収書をもらった上で、支払い根拠として、活動の月日や時間、活動内容、金額などを記した「参加者・支払者名簿」に当たるものを添付してもらう必要があります。

●共同活動に子どもが参加した場合

日当ではなく参加記念品(粗品)を渡すようにしましょう。

財産の管理 ①施設の更新

施設（農道、水路など）の更新を行う場合は、当該施設の管理者（市町、土地改良区など）と事前に協議を行うことが必要です。



Q 施設による管理者は？

A 農業で利用している道路や水路は、主に以下のように区分されます。

区分	施設	管理者
①土地改良施設	農道、用水路、排水路	土地改良区、(市町)
②法定外公共物	道路（赤線）、水路（青線）	市町
③法定公共物	市町道、準用河川	市町



Q 必要な手続きは？

A 施設の補修や更新を行う場合、施設の管理者と事前に協議が必要です。また、施設を新たに設置する（更新）場合には、工事後にその施設を譲渡（引渡し）することが必要です。

①土地改良施設の場合



※引渡しについては、書面(引渡し確認書)により行い、関係書類を添付する。

②法定外（赤線、青線）の場合 ③市道、準用河川の場合



※完了し引渡した施設について、財産管理台帳を作成し引き渡した年月日を整理する。

※加工申請、着手届、完了届等の必要書類は事前協議の際に市町へお問い合わせ下さい。